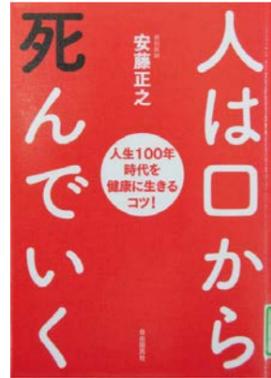




西中図書館 新刊オススメ本



『人は口から死んでいく』

安藤 正之 [著]
自由国民社

口の中は、「小さな地球」。この環境を大切にすれば、健康な体を

手に入れられるでしょう。咬み合わせの名医とされている著者が口腔と病との密接な関係をわかりやすく解き明かし、口のケアの大切さを様々な事例を交えて説明しています。歯や唾液だけでなく、舌のストレスが体の別な場所に不調として現れるなど、驚きの最新口腔医学に目からウロコの内容です。



『体と心の疲れが消えていく「滋養食」』

藤田 紘一郎 [著]
三笠書房

『向日葵のある台所』

秋川 滝美 [著]
角川書店



『歪んだ波紋』

塩田 武士 [著]
講談社

『愛なき世界』

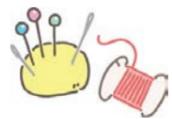
三浦 しをん [著]
中央公論新社



町民ギャラリー わらべ・いと 糸

今月は、橋谷田 美枝さん (6町内) の作品です。

作品名
「椿と桜」



作品紹介

「わらべ・糸」も、早いもので3年目に入りました。多くの先輩方の指導を受けながら作品を作り上げ、楽しんでいます。数十年前の帯や衣桁を取り出して、椿、桜、七宝まりを飾ってみました。製作期間はだいたい20日間です。

初めて七宝まりの作り方を教わったときは、ひとつずつ作っていると本当に形になるのか何だか不安でしたが、最後に糸をすっと引っ張ると、きれいに「まり」の形になって感動したことを覚えています。



西会津チーム初戦突破ならず

市町村対抗福島県ソフトボール大会

今年で5回目となる市町村対抗福島県ソフトボール大会が相馬市の相馬光陽ソフトボール場で開催され、県内55

市町村の代表チームが参加し、熱戦を繰り広げました。今回で4回目の出場となった町チームは、鈴木暁新監督



気迫のピッチングを見せる佐藤健吾投手



初マウンドの新田翔平投手

の下、仕事が終わってからの夜間練習のほか、柳津町チームや会津坂下町チームと練習試合を重ねてきました。今回の大会では、昨年ウインドミルの練習を始めた2人のピッチャーが登板し、力投を見せました。町チームは初戦、浅川町チームの猛攻を初回1点に抑えたものの、2回以降も攻撃の手を緩めることのない浅川町チームに毎回得点を挙げられてしまいました。反撃しようとしてバットに力を込めましたが、なかなか得点にはつながらず、12対0(4回コールド)で敗れました。本大会は残念ながら初戦敗退に終わりましたが、町チームはまだまだこれから。試行錯誤しながらも前進し続け、来年こそは勝利をつかみ取ってほしいと思います。

笑顔つながる「地域学校協働活動事業」

平成29年度から始まった「地域学校協働活動事業」を、皆さんは知っていますか。正直、名前が長くて……という人も多いかもしれませんが。しかし、町ではこの事業を通して、普段接点のない子どもと大人が関わり合い、新しいチャレンジや創造的な活動、ボランティアのほか、誰かのためになるような活動をさまざまな場所で行っています。例えば、地域のゲート



ゲートボール交流



漢字検定の様子

ボール愛好者と中学生の交流や、誰でも気軽に育児などの相談ができる「家庭教育相談室」。今年初めて開催した「漢字検定」などです。これらに共通することは、「地域」と「学校」「家庭」のそれぞれが関わり合い、三者の全てにとってプラスの活動になっているという点です。生涯学習課では、今後この事業を広め、皆さんと一緒に推進していきます。